

令和4年度 第2回 三島市高齢者保健福祉及び介護保険運営懇話会会議録

1 開催日時

令和5年3月23日（木） ※ 書面にて開催

2 開催場所

書面開催のためなし

3 懇話会委員

吉富委員（座長） 三宅委員（副座長） 近藤委員（副座長） 川原委員 宮下委員
榎澤委員 小島委員 荻野委員 鈴木委員 堀内委員 佐野委員 宮本委員 山田委員
内田委員 三沢委員 碓井委員 今野委員 原田委員 坂井委員 村瀬委員 青田委員
小川委員 高橋委員 杉山委員 中神委員

4 会議の公開・非公開

公開

5 傍聴人

0人

6 議題

（1）地域密着型サービス施設整備について

第8期介護保険事業計画に基づく認知症対応型共同生活介護事業所及び小規模多機能型居宅介護事業所（併設）、地域密着型特定施設入居者生活介護事業所の事業者、整備内容、開設時期

（2）高齢者実態調査について

調査の概要、調査項目、調査対象・発送数、回収数

（3）高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要及び令和5年度スケジュールについて

計画の基本理念及び方針、法的位置づけ、計画の期間、スケジュール（予定）

< 意見及び回答 >

<p>(該当資料・項目) 協議事項（１）資料「地域密着型サービス施設整備について」</p>
<p>(意見等)</p> <p>次期、第１０次三島市高齢者保健福祉計画・第９期三島市介護保険事業計画において、在宅での生活を柔軟かつ包括的・複合的に支える小規模多機能型居宅介護事業所と、住み慣れた地域で暮らし続けることを支援する認知症対応型共同生活介護事業所の併設での複合施設整備を推進してほしい。</p>
<p>(回答)</p> <p>第９期介護保険事業計画における施設整備計画の検討にあたっては、高齢者実態調査のなかでの今後利用を希望する介護サービスについてのニーズ分析と、市内介護サービス事業所調査において確認する事業種別ごとの参入意向の結果、また、今後の人口推計や介護需要の見通しを踏まえ、本懇話会委員の意見も参考に、総合的な検討を行っていく。</p>
<p>(該当資料・項目) 協議事項（１）資料「地域密着型サービス施設整備について」</p>
<p>(意見等)</p> <p>地域の介護支援専門員不足から休業する通所介護事業所や訪問介護事業所の話を知っている。県でも実態調査をしているようだが、三島市としてはどのような認識か。同時に、今後のサービス供給量として、三島市として影響はないか。</p>
<p>(回答)</p> <p>第９期介護保険事業計画の策定に向け、人口動態や介護需要の分析・推計とあわせ、介護職員の需給数を試算する予定である。さらには、市内介護サービス事業所調査を通じて、人材確保と運営の実態把握に努め、安定したサービス提供量の確保に向けた支援策の検討を図っていく。</p>
<p>(該当資料・項目) 協議事項（１）資料「地域密着型サービス施設整備について」</p>
<p>(意見等)</p> <p>意見ではないが、認知症の重症例が多く、介護負担が大きいと聞いている。認知症対応型施設またはグループホームや小規模多機能型などを増やしてほしい。</p>

(回答)

回答不要

(該当資料・項目)

協議事項(3)資料「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画概要及び令和5年度スケジュールについて」

(意見等)

買い物や通院などで危険な状態でも運転を続けている方がいる高齢者に免許返納を進めると強く反対を受けることが多々ある。

タクシーやオンライン診療や往診など実際の高齢者が利用するには困難もある。こうした状況の改善にこの懇話会はどのような役割を果たすのか。

(回答)

高齢者の足となるバスについては、令和4年度、自治会や住民からのご意見や要望を踏まえ、自主運行バスの路線変更、路線新設などの対応を行った。また、令和5年度は、高齢者バス利用助成事業の助成券について、1回に使用できる枚数をバスは1枚(100円)から2枚にタクシーは2枚から3枚に変更する予定である。

こうした改善を検討するのにあたり、本懇話会についてもご意見をいただく貴重な機会だと認識している。

(該当資料・項目)

協議事項(3)資料「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画概要及び令和5年度スケジュールについて」

(意見等)

理念および方針に「健康で福祉が充実したまちという基本目標のもと、高齢者が住み慣れた・・・社会を実現することを目的として、」とあるが、本懇話会から具体的に実績につながった例はあるか。

(回答)

例えば、計画の数値については、委員よりコロナが1,2年で収束しないことを見越した数値にしなければ意味のない計画になるという意見があり、数値設定をし、再度懇話会にて協議をしながら現計画を策定してきた。

次期計画でも懇話会で活発な意見交換を行いながら、本市の高齢者施策を推進していく。

<p>(該当資料・項目)</p> <p>協議事項(3)資料「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画概要及び令和5年度スケジュールについて」</p>
<p>(意見等)</p> <p>健康づくりの推進と介護予防の充実をどのような方法で行っていくのか。西伊豆等での介護予防の方法も取り入れるなかで、いつまでも社会参加でき自立していける様な場所の拡充が必要ではないか。</p>
<p>(回答)</p> <p>西伊豆町の先進的な取組については把握しており、三島市においても、住民主体の通いの場が多く存在し、類似の取組が進められると捉えており、介護予防体操の普及活動を行うボランティア「みつばち」がリハビリ専門職とともに通いの場に出向き、「みしまるっと体操」などの体操指導や体力測定を行っていく。</p> <p>また、日常生活圏域ごとに新たな通いの場の立ち上げに繋がるような「体操サロンまるっと」も開催予定である。</p> <p>今後とも、他市町で行う介護予防の取組みにも注目しながら、高齢者の方々がいつまでもお元気で生活できるよう、三島市らしい介護予防の取組みを進めていく。</p>
<p>(該当資料・項目)</p> <p>その他(高齢者保健福祉及び介護保険全般について)</p>
<p>(意見等)</p> <p>市内の高齢者福祉施設における介護人材の充足状況について</p>
<p>(回答)</p> <p>第9次介護保険事業計画策定にあたって、三島市における介護職員の需給見通しを試算するとともに、令和5年6月頃に実施予定の市内介護サービス事業所を対象とした調査の際に、人材確保の現状と必要とされる支援策についての項目を設け、より詳しい実態把握に努めていく。</p>
<p>(該当資料・項目)</p> <p>その他(高齢者保健福祉及び介護保険全般について)</p>
<p>(意見等)</p> <p>人材確保が課題とされる中における市の支援策について</p>
<p>(回答)</p> <p>介護人材の確保は、第9期介護保険事業計画における重要課題の一つである。現在、三島市では、介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修の研修受講料を支援する補助制度や、中</p>

学生を対象とした啓発事業を実施しているが、今後示される国の方針を踏まえ、市として実施可能な人材の確保策、人材の育成策を検討していく。

(該当資料・項目)

その他（高齢者保健福祉及び介護保険全般について）

(意見等)

コロナ禍における介護士等の感染に伴う緊急的な人的支援

(回答)

感染症や災害等の際の介護サービス事業所の相互応援システムの構築は、有事の業務継続にあたって重要な課題であり、静岡県では「訪問介護における感染症・災害対策連携推進業務連携体制づくり検討会」を立ち上げ、浜松市と三島市で事業者を対象とした研修会を開催したところである。

介護サービス事業所には令和5年度中の業務継続計画（BCP）の策定が義務付けられており、それを実効性のあるものとするために、今後とも、県と連携を図りながら、有事の事業所相互応援システムの構築に向けた検討を進めていく。

以上